

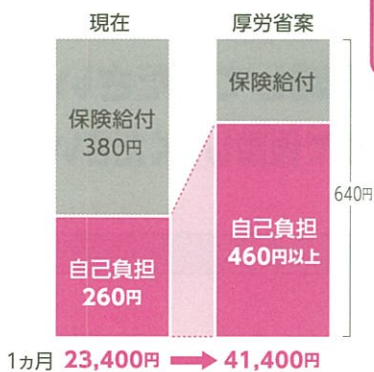
ストップ 患者負担増

守り育てよう国民皆保険。窓口負担の大幅軽減を。

安心して入院できない

政府は2015年の通常国会で、入院時の食事給付の自己負担増をねらっています。

■一般病床と精神病床の入院時の食費(1食あたり)



1ヵ月入院すると
18,000円もの
負担増!

高齢者の
負担上限2倍に
(外来受診1ヵ月)



混合診療=患者申出療養

日本に必要な医療は公的保険で保障するのが前提です。ところが政府は、保険診療と保険外の自由診療を組み合わせる「混合診療」を拡大する方針です。

「混合診療」を拡大すると、保険のきかない医療が広がり、患者さんの自己負担はどんどん増大してしまいます。

■新たな「混合診療」(保険外併用)の仕組み

「患者申出療養(仮称)」とは、保険がきかない医療を…

患者さんの希望で「混合診療」の対象に **危険** 健康被害があっても患者の自己責任に

現状6ヵ月の審査を2~6週間で判断 **危険** 安全性・有効性が不確かな国内未承認薬などが広範囲に使われる

実施医療機関が増える!? **危険**

増税した上に
負担増なの!!
ありえない!!

消費税増税
5%→8%→10%

介護利用料
1割→2割と
負担増

70~74歳
窓口負担
1割→2割8倍増

署名に
ご協力
ください



衆議院議長 殿
参議院議長 殿

新たな患者負担増をやめ、 窓口負担の大幅軽減を求める請願

請願趣旨

さらに増える患者さんの自己負担

政府は、医療費の窓口負担を1～3割の定率負担に加えて、入院時の食事代の自己負担を増やす(1食260円から460円に)など、新たな患者負担を増やそうとしています。

保険のきかない医療が増えようとしています

政府は「保険のきく医療(保険診療)」と「保険外の自由診療」を併用する「混合診療」をはじめ、保険のきかない医療を広げようとしています。

国民の医療を受ける権利を保障することは、憲法25条にもとづく国の責任です。
公的保険で誰もが必要な医療が受けられるよう、以下の事項の実現を求めます。



請願事項

- 1 患者負担をこれ以上増やさず、窓口負担を大幅に軽減してください。**
- 2 保険のきかない医療を広げる計画をやめ、必要な医療は公的保険で保障してください。**

お名前	ご住所

※この署名は、憲法16条で保障された請願権にもとづいて行うもので、国会請願以外の目的に使用しません。

(取扱い医療機関、団体)